

## 令和4年9月26日開催定例美祢市教育委員会会議録

**開催日時** 令和4年9月26日（月）午後2時から午後3時

**開催場所** 美祢市役所3階「委員会室」

### 出席委員

南 順子	教育長
金子 明美	教育長職務代理者
山田 裕治	委員
山本 亜由美	委員
松本 孝志	委員

5人

### 出席教育委員会事務局職員

八木下理香子	教育次長
西山 宏史	事務局長兼教育総務課長
渡辺 義征	〃 学校教育課長
千々松雅幸	〃 生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長
神田 高宏	〃 文化財保護課長兼世界ジオパーク推進課長
藤本 儀昭	〃 学校教育課主幹
倉増 裕	〃 教育総務課総務班長

8人

**（午後2時）**

**開 会**

**教育次長 八木下 理香子**

それでは時間よりも少し早いですけど皆さんお揃いですので、ただ今より、令和4年9月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これから進行は教育長よろしく申し上げます。

**教育長挨拶**

**教育長 南 順子**

それでは改めましてみなさんこんにちは。

本日はご多用の中、また、お足もとの悪い中、9月定例教育委員会会議にご出席くださいましてありがとうございます。

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、台風通過後、朝夕は一気に気温が下がり秋の気配が深まってまいりました。

例年ですと、この時期は澄み切った青空、黄金色に輝く稲穂、真っ赤な曼珠沙華と農村ならではの美しい田園風景が見渡せるのですが、台風14号の暴風雨のため、曼珠沙華は吹き飛び、せっかく実った稲はなぎ倒され、稲刈りを控えた農家の方には大変な状況のようで、お見舞いを申し上げます。

台風14号の通過に伴い、市教育委員会も市内13公民館等計17カ所に、避難所を開設しました。

当初この台風14号は今まで体験したことのない超大型台風ということでしたが、幸い近づくにつれ勢力が弱まり美祢市は台風の目が通過したことで一時風も雨も止み、学校も連休中で市内では大きな人的な被害がなかったのは幸いでした。

学校も、現在のところ、命に係わる大きな事故や事件の報告はなく、それぞれの学校で教育活動に取り組んでいますが、一人ひとりの子供たちの笑顔が輝く実践が進むことを期待したいと思います。

ところで、明日安倍元総理の国葬が営まれますが、美祢市教育委員会としては市内の各小中学校には弔意の強制は一切しない、普段通りの学校生活を過ごすという対応を渡辺学校教育課長を通じてしておりますので、ご報告申し上げます。

それでは、本日の会議を進めてまいりたいと思います。

どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## **署名委員の指名**

### **教育長 南 順子**

はじめに署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、山田委員と松本委員にお願いしたいと思います。

## **<両名了承>**

### **教育長 南 順子**

どうぞよろしくお願いたします。

## **前回会議録の承認**

続きまして、前回の会議録のご承認でございます。

山田委員と山本委員にお願いしてよろしいでしょうか。

## <両名承認>

### 教育長 南 順子

ありがとうございます。  
よろしく願いいたします。

### 冒頭報告

#### 教育長 南 順子

それでは、お手元の資料教育長報告（１）行事関係をごらんくださいませ。  
８月２６日からの行事が書かれておりますので、説明させていただきます。  
この日から学校訪問をはじめました。

この学校訪問は藤本主幹に夏休み中に学校との日程調整をお願いし藤本主幹あるいはそれぞれの学校の担当指導主事一名と私の計二名で訪問しています。

訪問の大きなねらいは、三つございます。

まず一つ目は、授業を通して学校の様子（児童・生徒・先生方）を知ることです。

短い時間ではありますが、必ず授業を見せていただいております。

本市の課題である学力向上は、日々、先生方がご自分の授業を子ども達の実態に合わせ、工夫・改善をしていくことが必要ですが、実際に授業を見せていただき、こんな風にならばっておられるのだと感謝する一方で気になることもございました。

一点ほど申し上げたいと思います。

各学校電子黒板を活用されているのは、とてもよいと思います。

事前によく研究をされて、子ども達の思考に合わせ、効果的に活用されているのを見せていただくと「なるほど」と納得しますが、電子黒板等「授業のどこで、どのような方法で活用をすることが子ども達の学びにとって有効であるのか、また、本来のねらいの達成につながってくるのか、事前にしっかり教材研究がなされているのか」正直、気になる授業もございました。

このあたりは、一緒に訪問した指導主事と情報交換をしながら、対策を協議したいと考えております。

二つ目は、管理職の校長先生や教頭先生と直接話をする中で、校長先生方の学校経営方針や重点取り組み事項を知ると共に課題をどのようにとらえられ、その解決に向けて具体的にどのように取り組んでおられるのかを教えていただくことでございます。

三つ目は、不登校や登校渋りの児童・生徒や家庭の様子等、あるいは、気になる子ども達の様子について状況を把握することです。

一人一人それぞれに状況が違いますし、決して同じように対応をすることは出来ませんが、少しでも子ども達にとって望ましい方向に状況が変わるよう、学校、家庭、関係機関との連携を図りながら対応していきたいと考えております。

各学校とも、二学期始めの大変お忙しい中での訪問にも関わらず、よく対応していただき感謝いたしております

そこに書かれておりますように、すみません日にちだけを申し上げますが、学校の御協力のおかげで本日までに市内17小中学校のうち8校の訪問を終えることができました。

8月26日の金曜日於福小中学校、8月29日月曜日大嶺中学校、8月30日火曜日大田小学校、伊佐中学校、8月31日水曜日秋吉小学校、9月9日金曜日麦川小学校、9月12日月曜日大嶺小学校でございます。

大嶺小では、昨年度重安小が閉校となり現在大嶺小学校に元重安小学校の児童が通学していますのでその子ども達の様子も聞きました。

5、6年生については、リーダーシップを発揮している元重安小の児童もいるとのことで、現在のところ特に大きな問題はないようでございます。

ただ課題としては、やはりこれまで実施していた元重安校区での地域学習が距離的にも遠くて実施出来ていない、地域の方にとっては寂しい思いをされているのではとのことでございました。

学校訪問関係については以上でございます。

8月26日にコエロ・ノエル・ディアマンティナさんの後任のALTとしてイギリスからビシャ・マヤさんをお迎えし着任の報告会を行いました。

現在、伊佐小、伊佐中、大嶺小、大嶺中に勤務していただいております。

同じ日に、少子化や人口減少社会に対応した活力のある学校づくりの積極的な検討を支援するために文部科学省がオンラインで開催した「学校魅力化フォーラム」に「学園制加配の活用による3小学校合同授業と公設塾mineto」と題して八木下次長が大田小の池田校長、minetoの潟中塾長と一緒に素晴らしい発表をしました。

8月27日に生涯学習スポーツ推進課が担当する令和4年度山口県立大学・美祢サテライトカレッジの第一回講座が開講しました。

後ほど担当の課から詳しい説明があると思いますが、今年度は「異文化と出会うふれあう文化、繋がる世界」をテーマに、二回目が9月3日に三回目が9月10日にそれぞれの会場で開催されました。

8月29日に企業版ふるさと納税寄付金贈呈式が行われました。

これは、「命の水と生活の水を守る」ために日々努力されているシンク・エンジニアリング株式会社が「美祢市公設塾minetoによる未来創生プロジェクト」のためにと寄付されたものです。

寄付関係につきましては、このほかにも、9月8日に大嶺町奥分にお住まいの方が美祢市の教育振興のためにと個人で100万円寄付されました。

この方の寄付金贈呈につきましては、ご本人の要望で報道関係への周知や市報等への掲載は控えてほしいということでしたので、公にはしないことになっております。

もう一件、UBE三菱セメントからも8月30日に公設塾minetoのために、50万円寄付をしたという連絡をいただいております。

9月8日の特別天然記念物秋芳洞再生事業市民説明会、9日の特別天然記念物秋芳洞再生事業評価委員会につきましては担当の課から詳しい説明がごさいますが、国の天然記念物であると同時に100年以上にわたって観光活用され文化的・経済的支柱として地域を支え続けた貴重な自然遺産である秋芳洞を人工的影響を受ける以前の洞内環境に近づけ、その維持を目指すために、取り組みを進めているところでございます。

9月12日の夏休みアートプロジェクト完成セレモニーは、地域連携教育の一環として、美祢の町を明るくするために、大嶺小・麦川小・豊田前小・大嶺中・美祢青嶺高校・成進高校の児童生徒や地域の方が協力して美祢市出身の切り絵画家久保修さんの絵を夏休み中に描き完成しましたので、美祢駅のMineにぎわいステーションの前に飾るための除幕式を行ったものでございます。

9月15日から、議会定例会本会議が始まりました。

後ほど教育総務課より質問要旨や答弁等について報告いたします。

以上でございます。

何か御質問、お尋ねになりたいことや、お気づきがございましたらお願いいたします。

## **教育長 南 順子**

よろしゅうございますでしょうか。

## **議題及び議事**

### **教育長 南 順子**

それでは本来なら、続いて議案の審議に入る予定ですが、御案内いたしましたように本会議は議案がございませんので、協議報告等にはいらさせていただきます。

## **協議報告等**

### **教育長 南 順子**

それでは、それぞれの所管からの報告に移りたいと思います。

初めに教育総務課お願いいたします。

### **教育総務課長 西山 宏史**

協議報告等の教育総務課でございます。

一番目でございます。

美祢市教育功労者表彰式につきましては、こちらに書いてありますとおり、9月30日金曜日午後1時から本庁2階の応接室で行う予定としております。

この教育功労者表彰式につきましては、金子委員さんのみのですね、御出席をお願いさせていただきますとしております。

それから、二番目の市議会の9月定例会でございます。

こちらにつきましては別紙として、一般質問順序表というのを事前にお送りしておったかと思えます。

同封しておりませんか。

すいません。

各委員さん、同封してなかったということでちょっとこの後ですね、資料のほうですね御準備いたします。

どうもすいませんでした。

今回、一般質問に立たれた議員は5名いらっしゃいまして、最近はですね、日程的には2日間をとって一般質問は執行部側が対応しておったんですけど今回は一般質問された議員5名にとどまりましたので、9月20日の1日だけでしたが教育委員会関係の質問は比較的多かったように思います。

2番目に質問された藤井議員でございますが、2番に中学校部活動の地域移行に伴う諸問題について、という御質問がありまして、もともと文科省あるいは文化庁、そしてスポーツ庁がどういう考えで事を進めておるのかという、質問から入りましてですね、国の考え方そして県、市の考え方をお答えさせてもらいそして今、本市の取組状況もですね、お答えしたところでございます。

それから、3番目の質問者、岡山議員につきましては、議員の3番目の質問ですけども、外国人観光客いわゆるインバウンドの方へのですね通訳ボランティアを養成してはどうかということで質問がございました。

それから、4番目の三好議員に関しては三好議員さん何度も学校給食のことについてはですね質問されておられますが今回は学校給食の食材、について、地産地消の割合を高めてほしいとできるだけ地元産食材を使ってほしいという御質問でございました。

山口県産という捉え方で言うとですね県の目標70%は上回って85%という数字は達成しております。

ただ、美祢市産については市の総合計画で、34%という数字を掲げておるんですがそれにはちょっと少し足りてないという状況を申し上げて今後も、引き続き取組を継続いたしますという趣旨で答弁しております。

それから5番目は山中議員につきましてはですね、最初に新教育長の教育理念を御説明され、教育長がですね、御自身の考え方を述べられました。

それから、小中一貫教育の進捗状況それから、中学校の部活動改革も質問さ

れたんですが、藤井議員とですね、質問趣旨がダブるということでこれはちょっと省略されました。

それから4番目は公設塾の現状と地域間格差について。

それから5番目は、新秋吉台科学博物館建設の状況、今の取組状況はどうなってるかということでした。

それから6番目の秋芳北部総合運動公園、教育委員会に関してはですねここ山口秋吉台公園自転車道の環境整備とか書かれておるんですが、私ども生涯学習スポーツ推進課が所管してるのは前者、秋芳北部総合運動公園のほうなんです、もっと地元の方が汗水流して環境整備草刈り等してくださった時に市として支援できることはないかという趣旨で御質問がありまして、私どもも大変心苦しく思っております。

今後、支援を拡充できるように、何らかの方策を検討しておりますという答弁をしております。

だいたい教育委員会絡みをすいません中身を細かく、踏み込んで今、御報告してありませんがだいたいそういうような御質問いただき、答弁をしたところでございます。

今日ちょっと、いつもどおり、課長もそろっておりますので個別今、御説明申し上げたそれぞれの質問についてですね、この点どうだったんだろうかというのがございましたら御質問いただけたらと思います。

#### **教育長 南 順子**

それでは今報告が終わりましたが御質問などありませんでしょうか。

はい、山本委員。

#### **委員 山本 亜由美**

中学校の部活動についてなんですけど、地域に移行するときに子供たちにアンケートが保護者に書いてくださいときたんですけど。

結局、どんな感じの方向に向かっているんですか。

#### **教育長 南 順子**

はい、学校教育課渡辺課長。

お願いいたします。

#### **学校教育課長 渡辺 義征**

アンケートについては集計中でございます。

美祢市では各学校での子供たちの数が急激に減少していくということで

ざいますので、学校単独で部活動を維持するというのがほとんど難しい状況になっています。

大嶺中以外は各学校男女2つか3つの選択肢しかなく、今ある部活動を維持することは3年後、5年後にはいずれ無理な状況が来ることが考えられます。

休日の部活動を地域に移行するだけでなく、これをまず手がかりにということか足がかりと申しますか、この動きを少しずつ広げていくことによって活動自体を地域の方に支えていただく、そこに一緒に部活動といいますか活動を一緒にやりたいという教員がおりましたら教員もその中に入って活動をしていく。

そうすることによって市内で、人数の多いところは二つぐらいの活動母体ができるかなと思っています。

ただほとんどの部活動につきましては、一つの活動母体に収まっていくのではないかと思っています。

全ての活動を地域で支える、地域でやることによって部活動、代わりと言ったら言葉が悪いんですけども、部活動からそういう活動に変え、変わっていくというイメージになろうかと思えます。

今、中体連のほうも最終的にどういう形で大会運営をするのかっていうのをずっと検討されておりますけれども、取りあえず現段階で決まっているのが、令和5年度から全国の大会に地域で活動しているクラブチームであるとか、今美祢が考えておるようなチームが出場できるような仕組みにしていくところまで決まっています。

ですのでそういう仕組みができ上がれば、美祢が今目指しているような、活動に移行していくことによっても、子供たちが大会に出ていくっていうことは可能になるだろうと思っています。

併せて文化部のほうも同様の動きが今、全国で起こっておりますので運動部活動と同じような動きが文化部のほうでもだんだん見えてくると思えます。

それに併せて今、市内で行われている文化部の吹奏楽の活動なんかも同じように地域で活動ができるような仕組みに変わっていければと考えているところです。

以上です。

## 委員 山本 亜由美

ちょっといいですか、学校から遠い場所とか1か所でやるってなった場合にそこまで親が送迎をしないといけないのかとか、バスが出たらそれは子供も参加させられるだろうけど、親の送迎となったら平日、休日共にちょっと難しい部分が出てきて、そういう運動はやりたいけど参加をさせられない子っていうのも増えるんじゃないかなというふうに思うんですけど、その送迎関係とかは



どのように考えてますか。

**教育長 南 順子**

すみません。はい、渡辺課長お願いします。

**学校教育課長 渡辺 義征**

はい、お答えさせていただければと思います。

今、我々も一番課題となっているのが、子供たちの移動方法というところと思っています。

これにつきましては、今の休日の地域移行のところでも多少そういった関連のことも研究しなければならないと思っていますし、その中で実証実験をしなければならないところが出てくると考えています。

その中で、スクールバス等を全て活用ができるかどうかというのはまだまだですけれども活用するというようなことも、今、考えておきまして、その活用をしながらさらにプラスアルファの移動方法の支援がどこまでできるのかというのを検討したいと思っています。

ただ、いずれにしても学校単独で活動が出来ないということになれば、子供たちがもう活動すること自体が不可能になってしまうっていうことは美祢市の場合避けなければならないと思っていますので、そのためにどうすれば持続可能になるのかというのを今探っている段階でございます。

そういった課題を解決する方法を見つけながら、また保護者とも協議をしながら進めていこうと思っています。

併せて、部活動という概念自体がもう変わってくる。

学校の教員なんかも凄くそこに固執しているところがあるんで今回のアンケートをもとにまたどういう手だてを打っていかなくちゃいけないのかっていうことを考えようと思っていますが、地域の方、保護者の考え自体もやっぱり今までのイメージで部活動を捉えてらっしゃると思うので。

その辺りについても丁寧に地域、それから各学校のほうで説明をしながら、こういう考え方でやっていくっていうのはどうだろうかということをご提案させていただきながら、今みたいな課題とあわせて解決をしていければと思っています。

以上です。

**教育長 南 順子**

よろしいでしょうか。

**委員 山本 亜由美**

はい。

### 教育長 南 順子

ありがとうございました。

### 教育総務課長 西山 宏史

今の渡辺課長の説明の補足になりますけども、今minetoっていう公設塾に比較的遠くから通ってこられる子供さんって、もう親が連れてこられて当たり前になってるんですよね。

ご両親もだし子供さんもですね、何ら疑うことなくもう車で来られる方がほとんどなんですよ。

教育委員会の事務局内でこの在り様にちょっと疑問も持ったりしてですね、それは私たちの時代そうじゃなかったでしょうと、特に八木下次長なんかは都会育ちなんです、子どもでも普通に自分で、公共交通機関によって移動するもんだよっていうところがあってすごい違和感があるのは事実なんです。

部活動の地域移行、今後進むにつれて、やはり出来たら、より公共性の高い、親御さんが送迎されるよりはスクールバスのほうがまだいいだろうし、そのスクールバスよりは、公共交通機関でカバーできればですね、そのほうがまだいいだろうし、市の公共交通機関については地域振興課というところが担当課なんですけども、minetoの子どもさんの動向も部活動の地域移行の話にもすごい関心を持ってきてます。

可能であればそういう子供たちの移動に関してですね今後、学校の再編統合によって、生ずるかもしれないそういう子供さんの移動、部活動の地域移行によって生ずる子供さんの新たな移動に関しても公共交通機関の担当課である地域振興課はすごく関心を持ってきてます。

タイアップしよう、教育委員会とですね情報共有してですね子供さんの移動にですねちょっとでも役に立とうとしてきてます。

今そんなすごい抽象的なことしかお伝え出来ません。

すいません。

### 教育長 南 順子

次に学校教育課のほうお願いします。

学校教育課、渡辺課長お願いします。

### 学校教育課長 渡辺 義征

はい、それでは学校教育課から、大きく2点御報告をさせていただければと思います。

まず、mineto教育改革プロジェクトについてでございますが、先月定例会議のときに御紹介しました9月7日に公設塾minetoに村岡知事が来られるというお話をしたかと思っております。

残念ながら急用が入られましてこの日、村岡知事が来れなくなりました。

大変お忙しい中で調整をしておりましたので、来たいのは山々なんだけれどもということで今、新たな日程というのは調整はついておりませんが、改めて日程の調整がつけばまた来られるということがあるかと思えます。

そのときには御報告をさせていただければと思っております。

それからmineto教育改革プロジェクトに関しましてもう1点。

S F Cの出張minetoに関してです。

これまで、S F C合宿、公設塾mineto、mineto子どもキャンプ、このmineto教育改革プロジェクトの中の4本柱の3本については今年かなり具体的な動きっていうのも御報告出来ておったんですが、出張minetoに関しては、まだそこまでの動きが出来ておりませんでした。

そこを受けてS F Cの長谷部先生のほうが9月に美祢市のほうに御訪問されて6中学校全てを回っていただいて今、取りあえずオンラインで子供たちとS F Cの学生がつながって連携した取組が出来ないかということが動き始めております。

新たな学生が美祢のほうに来てっていう動きもその続きで考えようとしていますがなかなか学生の都合もついていないという状況なので、一旦オンラインでの活動を出張minetoとして進めたいなと思っているところです。

また具体が決まりましたらこちらのほうも御報告させていただければと思います。

大きく2点目は本日の配付資料の中に、学校訪問についての紙がお配りしてあるかと思えます。

年度初めにお配りさせていただきましたので、松本委員さんがまだ来られる前にお配りさせていただいていたのを再度配らさせていただいたものになります。

1学期までの4校につきましては既に終わっておりますが、10月に2校ほど、今年度の学校訪問の予定が入っております。

行っていただく方々についてはそこに書いてございますように、コロナ禍ということなので限定をさせて訪問させていただくということになっておりますので、また日程を見て調整をしていただけたらと思えます。

御都合が悪くなられた等がございましたら、学校教育課、藤本または渡辺のほうまでお申出いただければ大変助かります。

それから特に予定はしておりませんでしたが一報報告ですが、コロナウイルス感染症の状況については、夏休みをあけて急速に今、学校のほうの影響が少

なくなってきました。

先週後半はもうゼロの日が、2日ほどございました。

本日この週末に、1件ほど報告がございましたが、一旦ちょっと収束の方向に向かっているのかなど。

それを受けて、中学校の運動会であったり、今後文化祭もございますがこちらも予定どおりにできるのではないのかなというふうな状況もございます。

また修学旅行等ももう思い切って行ってこようということで、この週末に帰ってきたんですが秋芳中学校は関西のほうに行って帰ってきております。

日曜日に帰ってきてますので、今のところ特に子供たちの健康も異常がないということなので、いろんな活動もこれに倣って行っていければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

### **教育長 南 順子**

はい、ありがとうございます。

今、学校教育課のほうからmineto教育改革プロジェクトと学校訪問とコロナウイルス関係について、ございましたけれども、ちょっと学校訪問のことについて確認をさせていただけたらと思います。

この紙の裏にございますけれども、10月18日火曜日が厚保小学校で金子委員、山田委員すみませんよろしくお願い出来たらと思います。

それから10月26日水曜日が秋芳桂花小学校ということで松本委員、山本委員ということすみません、大変お忙しい時期だと思いますけれども今、課長が申しましたように御訪問の方よろしくお願い出来たらと思います。

詳しい訪問の実施計画は前のほうに書いてございますのでまたこれを御覧になっていただけたらと思います。

はい、今の打合せ、説明につきまして、御質問がありましたらお願いいたします。

### **教育長 南 順子**

よろしゅうございますでしょうか。はい、続いて生涯学習スポーツ推進課お願いいたします。

はい、千々松課長。

### **生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

生涯学習スポーツ推進課からは3点御報告させていただきたいと思います。

まず1点目は第15回美祢市民レクリエーションナイターソフトボール大会についてです。

コロナの影響もありまして3年ぶりの開催ということになりました。

9月1日からの開始予定ではありましたが、雨のため9月3日土曜日それから7、8、9、水木金と伊佐公園グラウンドで開催をいたしました。

一般が9チーム、女子が2チームの参加でありました。

初秋の夜、スポーツに親しみ、また各チーム親睦を深めることの出来た大会であったというふうに思います。

2点目が美祢市ふるさと歴史講座についてです。

これは美祢の図書館3館が共同して今年度から開催しようとしたものであります。

第1回目を9月17日の日曜日、講師に美祢市郷土文化研究会宮崎義敬さん、厚保の神宮皇后神社の宮司さんでもあります。

テーマとして「高杉晋作を狙った男」として市民会館の大会議室で開催をいたしました。

参加者は非常に多くございまして49名の参加がございました。

幕末の下関の教法寺事件、先鋒隊と奇兵隊のいざこざの中で、蔵田幾之進さんが奇兵隊によって切り殺されたというような事件であります。

蔵田さんの御子息の家が厚保にあるわけでありまして、その蔵田さんの一族のその後、非常に歴史的背景をもとにドラマチックにお話をさせていただいたというふうに思っております。

本当に頭の中で映像が浮かんでくるような感じのお話であったというふうに思っております。

第2回目の講座は10月22日に開催することとしております。

秋芳町地方文化研究会の蔵本隆博さんをお招きし、来嶋又兵衛の実像と蛤御門の変についてお話をいただく予定です。

当初美祢図書館の視聴覚室で開催する予定でありましたが、参加希望者が多くございまして今市民会館の大会議室に変更しようかというようなところでございます。

3点目が山口県立大学美祢市サテライトカレッジについてであります。

第1回目を8月27日、秋吉公民館で「仙人？それとも魔術師？張果の話を読む」と題して、中国文化についてのお話をさせていただいております。

受講者は21名ございました。

第2回講座は9月3日の日、美東センターで開催いたしております。

「本当の仏教」を昨年に続き第2章ということで、宗教のお話をさせていただいております。

受講者は25名ございました。

第3回講座は9月10日、市民会館でウイズコロナ時代における異文化理解の必要性ということで国際文化についてのお話をさせていただいております。

受講者数は15名でございました。

生涯学習スポーツ推進課は学ぶことが楽しいと思っただけのような講座、スポーツが楽しいと思っただけのようなイベントを開催出来たというふうに思っております。

ただ、今後この参加者を拡大させていかなければいけないというふうに感じたところであります。

以上になります。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

御質問はございませんでしょうか。

よろしゅうございますでしょうか。

続いて文化財保護課、お願いいたします。

はい、神田課長。

#### **文化財保護課長 神田 高宏**

はい、それでは文化財保護課から、3点ほど御報告させていただきます。

それでは資料はですねこちらの、特別天然記念物秋芳洞天然記念物再生事業という資料を御覧いただけたらと思います。

まず1ページですが、まず秋芳洞というのは総延長が11.07キロの鍾乳洞でございまして、最下流部の1キロが観光洞として使われております。

2ページをお願いいたします。

秋芳洞は1922年、大正11年に天然記念物、1952年の昭和27年に特別天然記念物に指定されております。

2ページの下段ですが、こちら秋芳洞の主な活用ということで記載させていただきます。

1904年当時は瀧穴と呼ばれており、観光利用が開始されております。

その後、1919年に石油カーバイランプ導入後、観光客が安全に洞内を周遊するために洞内の照明を改良、増設を行ってまいりました。

しかしながら、2000年代に入りまして、洞内の緑化が目立ち始めました。

2010年洞内照明をLED化しましたが、緑化を抑えることは出来ずに、ますます進行してまいりました。

3ページ目を御覧いただきますと、2007年と2018年の黄金柱の状態となっております。

緑化が進んでいることがよく分かるのではないかと思います。

こちらですね、この再生事業の事業目的といたしましては秋芳洞に繁茂する照明植生を除去及び抑制し、人為的影響を受ける以前の環境に近づけるとい

うのがこの事業の目的となっております。

4 ページをお願いいたします。

4 ページの上の図はですね、こちらは県、文化庁とも、連携をしておりますので、それを表した図となっております。

4 ページの下図は、こちらは、秋芳洞の照明の設置の状況をあらわしております。

続きまして5 ページ目ですが、5 ページの上がこちらは代表的な照明植生の分類となっております。

ココミクサ、アオミソウとか、そういったものが繁茂しているということが分かっております。

5 ページ目下ですが、こちらは光の波長等と植生の関係を示した図となっております。

それぞれの植生によって好きな光の波長があるということが分かってまいりました。

続きまして6 ページです。

6 ページの下図ですが令和3年度までの照明植生対策事業で20ルクス以下では、照明植生が発生しづらいということが分かってまいりました。

また、これ以上暗くいたしますと安全面で支障が出るためこの20ルクスというのをですね一つの基準として対策を行っていかうということになっております。

続きまして7 ページ目ですが、再生事業実施に当たりましては秋芳洞への影響をなるべく小さくする、可逆性を重視する、これはどういうことかと申しますと問題が発生したらすぐに元の状態に戻す、また継続的なモニタリングを行っていく。

そして、普段から行える対策を検討する。

こちら普段の観光洞の管理といたしましては観光部局のほうが行っておりますので、観光部局と連携して日常的な清掃、入洞前の観光客の服、靴等の清掃等をお願いするというふうになっております。

また、他の観光洞の先駆けとなるこちらの秋芳洞の再生事業につきましては、全国の観光洞でもですね、同じような照明植生の問題を抱えております。

その先駆けとなる事業として全国の模範となるような事業としていきたいと考えております。

7 ページの下ですが、じゃあどういふふうに秋芳洞の緑化を抑えていくの、再生していくのっていうところなんですけど、まずは遮光フィルムによる照度の低減、黒い照射を低減するフィルムを照明の前に置きまして照度を低減する。

二つ目が、照明照射の方向の定期的な変更、常に同じところに光を当てるのではなくに光の向きを変えて光の当たる合計の時間をちょっと減らしてやる

うという取組です。

また、色のついたフィルムを用いた光の波長の変更、こちらは緑色とか、赤色のフィルムを置くだけでですね、光の波長というのは変わってきます。

常に同じ波長が好きな植生が育つような状況にしないということになります。

そして4つ目が遮光版による遮光範囲の制限、ちょっと板を置いて、光の当たる範囲をちょっと狭くしてやろうという、手法となります。

続きまして最後のページになりますが、8ページになります。

こちらの環境再生手法の例②ですが、こちらは薬剤を用いた方法となります。

照明植生の繁茂が著しい地点においては、過酸化水素水溶液及び次亜塩素酸ナトリウム溶液による除去手法を施工していきます。

作業にあたっては、近辺に生息する生物に配慮し実行することとなっております。

この過酸化水素水、これはオキシドールっていうのがあるかと思うんですが、その主成分となっております。

次亜塩素酸ナトリウムというのは水道の消毒薬ということで、実は薄いものはですね皆さん常に飲んでいるというふうなものでとも安全性は確立された物質でありまして適切に用いれば人体や環境に悪影響を及ぼさないということとなっております。

再生事業のまとめといたしましては3か年にわたる調査、こちらは令和3年度までの天然記念物緊急調査により秋芳洞の環境、照明植生の状態が把握出来ました。

今年度からの2か年で再生手法を試行しまして、その効果と影響を評価いたします。

照明植生対策は抑制手法と除除去手法と日常的な管理を組合せて実施してまいります。

再生事業においては、洞内の16%の照明周辺で試行いたしまして、問題が発生した場合は作業を中断し、再検討を行います。

事業の総まとめといたしまして発行する再生事業の報告書の中で照明植生対策ガイドラインを作成いたします。

それに基づきまして令和6年度よりガイドラインに基づいた対策を秋芳洞及び、景清穴、大正洞の全洞において本格実施するということとなっております。

はい。続きまして(2)番目のですね、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議について御説明いたします。

10月20日、21日栃木県栃木市でラムサール条約登録湿地関係市町村会議が開催されまして、美祢市からは美祢市長が出席されます。



美祢市におきましては、秋吉台の地下水系がラムサール条約登録湿地に認証されております。

会議におきましては、渡良瀬遊水地視察、また市町村長会議、学習交流会等が開催されまして学習交流会においては条約締結国会議と自治体認証制度、取組事例報告、また意見交換等が行われることとなっております。

続きまして（３）番の、銅山まつりですが１０月２３日の日曜日、長登銅山文化交流館及び周辺で第１５回銅山まつりが開催されます。

こちらはですねこのチラシを御覧いただけたらと思います。

内容といたしましては、古代の方法によります銅の精錬実験、また各種バザー、キッチンカー、鑄造体験、木簡作成体験などを予定しております。

また、毎年美東中の１年生２年生によります銅鉱石を採掘していた坑道や明治、大正時代の精錬所跡のガイドツアーを行います。

是非とも、御来場いただけたらと思います。

文化財保護課からは以上です。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

今、３点について御報告がございましたけれども、御質問等ありましたらお願いします。

たくさんの資料をすぐ見ていただいて、なかなか御質問というわけにはいきませんが、どんなことでも構いませんので、御意見等いただけるとありがたいと思います。

#### **委員 山本亜由美**

今年の夏休みに秋芳洞行ったんですけど、本当に凄い緑色になってしまっていて、でも一日も早く元の状態に戻ったらいいねって子供たちと話しながら、帰ってきたので早く良くなったらいいなって思ってます。

#### **教育長 南 順子**

神田課長。

#### **文化財保護課長 神田 高宏**

はい、ありがとうございます。

本当、そうやって、来ていただけるっていうのは非常にうれしいです。

ありがとうございます。

文化財保護課のほうもですね、実は黄金柱はですねもう、１番最後のもう大本丸というか１番大事なところになりますので、２年間の再生事業をいろいろ

施工した上でメインとなるところはですね、その結果を見て一番確実な方法でやっていきたいと思っております。

そのときはまた是非いらしてください。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

他にございませんでしょうか。

次また世界ジオパーク推進課からの説明を終えてまたあと全体でとりたいと思いますのでまたそのときに御質問願いたいと思います。

世界ジオパーク推進課ということで神田課長お願いいたします。

### **世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

それでは世界ジオパーク推進課から3点御報告のほうさせていただきます。

まず一つ目は、A P G Nアジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムについてシンポジウムの美祢青嶺高等学校の発表について御報告のほうをさせていただきます。

9月4日から7日にかけて、タイのサトゥーンでA P G Nアジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムが開催され、美祢市からは国際交流員のジョアナが現地で参加いたしております。

シンポジウムにおきましては、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会の顧問である山口大学の脇田先生によるMine秋吉台ジオパークの地質に関する発表、国際交流員のジョアナによる国際交流イベントなど活動に関する発表、美祢青嶺高校の生徒によります美祢市のですね、別府堅田地区、弁天池、大嶺酒造など、水をテーマにいたしまして自分たちの調べたことを発表しております。

青嶺高校の生徒たちにつきましてはオンラインで発表いたしております。

発表後ですね、他のジオパークから活動について多く質問を受けたということ国際交流員のほうから聞いております。

ということはMine秋吉台ジオパークの活動に、とても興味を持っていただけたのではないかなと感じております。

続きまして(2)番のジオパーク防災減災イベントの報告です。

9月17日の土曜日ですが、美祢市消防本部でジオパーク、防災減災イベントを開催いたしました。

このイベントは、消防本部、美祢市の総務課と共同で実施する初のイベントでありまして、ジオガイドによる、「どうして日本では災害が多いの？」美祢市ではどんな災害が起こる可能性があるのか、などの講習のほか防災バックの中身は何が必要かということ参加者で考えたり、消防署員によりますケガをした際の応急処置の方法、またはしご車体験等も行いました。

また、総務課職員による、防災アプリの導入方法なども行っております。

非常にですね、小さい子供たちも興味を持って聞いたり体験出来たイベントだったと感じております。

最後になりますが、第12回日本ジオパーク全国大会白山手取川大会について、御報告いたします。

10月21日の金曜日から23日の日曜日にかけて、石川県白山市において、第12回日本ジオパーク全国大会、白山手取川大会が開催されます。

今回の大会におきましては、美祢市から伊佐中学校が参加いたしましてジオパークとSDGsの観点から見た「自分たちが美祢市でできること」を企画いたしまして、発表することとなっております。

以上であります。

### **教育長 南 順子**

今3点御報告がございましたけれども、御質問はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。一応、協議報告は終わりといたしたいと思っております。

### **教育委員からの提案及び意見**

#### **教育長 南 順子**

では、続きまして、教育委員の皆様方からご意見やご提案などがあれば承りたいと思っております。今までのご報告をきかれて、あるいは、それ以外のことでもかまいません。また、資料などにつきましても、ご質問があれば一緒に承りたいと思っております。よろしいでしょうか。

はい、金子委員お願いいたします。

#### **教育長職務代理者 金子 明美**

質問なんですけども、10月11日に岩国の東小中学校で研修会とかあったと思うんですが、日程とかスケジュールとかはまた後日ご連絡があるんでしょうか。

#### **教育総務課長 西山 宏史**

本日のですね予定しておる日程が終わった後にですね、ちょっと資料をお配りしてお話ししたいことがございましてですね。

今おっしゃった10月11日の岩国の出張の件とですね、あと長崎の出張もありましてですね、ちょっとお話ししたいことがありますので、またちょっとあとコーナーつくらせてもらっていいですか。

すみません。

#### **教育長 南 順子**

他によろしゅうございますでしょうか。

それでは、8番の10月の教育委員会開催予定について八木下次長お願いいたします。

### **10月の教育委員会会議の開催予定**

#### **教育次長 八木下 理香子**

失礼します。

次回の教育委員会会議は10月25日火曜日の14時からここと同じ本庁3階の委員会室で開催したいと考えております。

以上です。

#### **教育長 南 順子**

今回は10月25日火曜日14時ということで大変お忙しい中、御足労をおかけいたしますが、よろしく願い出来たらと思います。

### **<全員了承>**

#### **教育長 南 順子**

以上をもちまして、9月の定例教育委員会会議は終了させていただけたらと思います。

いろいろ御協力ありがとうございました。

お疲れでございました。

### **(午後3時00分終了)**

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成